

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	東根市役所
実習期間	平成 30 年 8 月 8 日 ～ 平成 30 年 8 月 13 日
学生氏名	鈴木 志歩
実習プログラム	私は総合政策課、市民課、庶務課での東根まつりの準備、商工観光課での業務を行った。総合政策課では業務内容の説明と質疑応答を行い、広報広聴係の業務を体験した。市民課では国民健康保険と国民年金制度の説明をうけ、福祉医療事務のサポートを行った。東根まつりでは団体と職員の食事の準備と会場運営を行い、提灯をもって祭りに参加した。商工観光課では祭りの後片付けと工業団地の見学と説明をうけた。
学び・気づき (300 字程度)	総合政策課では総合計画の作成や具体的な事業を市長や市民からなる審査会、様々な課からの提言をまとめる調整力が必要と学んだ。市民課では個人情報扱うため間違いを犯してはならず、正確性を求められるものだと学んだ。また市役所の顔でもあるため、市役所の信頼につながる重要な業務であると感じた。東根まつりの会場準備は商工観光課が 3 ヶ月前から行い、当日の案内役や駐車場の警備も他の課から派遣された人が行い、市役所全体で運営していると分かった。今までは市役所の業務をよく把握していなかったが、4つの課の業務を体験したことで少しは理解できたと思う。この他にも多くの課があり、自分の専門外のこともあるため様々な情報や知識をつける必要があると感じた。
今後に向けた 抱負 (200 字程度)	公務員として働くイメージをこのインターンシップを通じ、明確になった。様々な課があり、自分の専門外のこともあるが、学ぶ姿勢を大事にしていこうと思う。また社会の動きも知ることが必要だと思うので、新聞やニュースなどから情報を入れ、社会に対して積極的になる必要があると考えた。今後の進路の選択に活かしていこうと思う。
インターンシッ プをして気づい た、実習先の魅力 (300 字)	東根市が取り組んでいる政策のうち印象的だったのが、子育て支援の施設が多いことである。タントクルセンターには子どもの遊び場や健診場所など 1 つの施設ですべて行えるというのが魅力である。子育て世代にとって利用しやすいものだったと思った。また職員が気さくな方ばかりで、職場の雰囲気良かった。そのため疑問に思ったことや感想をしっかりと言うことができた。また口頭の説明だけでなく資料を用いながらの説明だったので理解しやすかった。そのときも私がメモをとっている間次の説明にいかず、待っていてくれたので嬉しかった。これらのことから職員の人柄がとてもいいことが魅力である。